News of The Japanese Weekend School of New York

BIG APPLE

ニューヨーク補習授業校
56 Harrison St. Suite204
New Rochelle, NY 10801 U.S.A.
Tel:(914)636-3770
Fax:(914)636-7476
平成２５年　11月 15日　No. 15

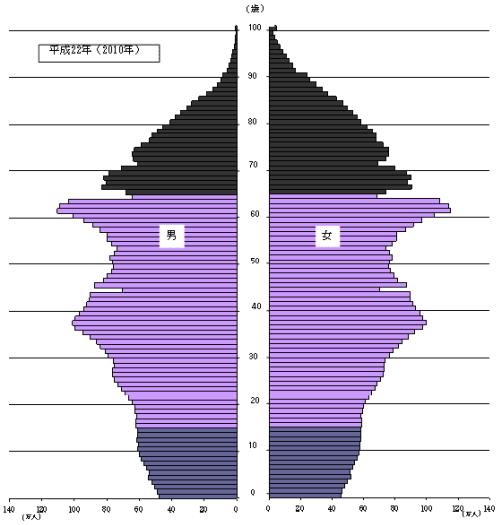
発行責任者：校長　櫻井郁男

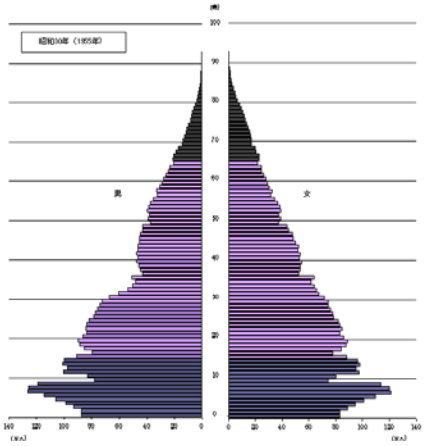
人口ピラミッド

中等部社会科の授業に招かれ、ゲストティーチャーとして授業のお手伝いをしました。

指導の目標は、ベビーブームの時代背景を知り、60年経った現在との違いや、現在および今後の我が国における課題に気付く・・・といったところでしょうか。

教師が提示した人口ピラミッドは右のデータでした。生徒は人口の増減に着目し、それぞれの考えをまとめます。私は「あの頃」を聞かれるままに説明し、生徒の考えが深まっていく様子に手ごたえを感じました。





「団塊の世代」を説明するためには左のデータ1955年を提示すれば理解が進みます。私は団塊の世代には「遅れてきた青年」ということになりますが、1955年には、この世に存在しています。

さて、今回「さすがに海外で学ぶ子供たち」と感じたことがありました。右上のグラフで40歳から50歳の年齢の人々が減少している理由として、生徒からは「みんな海外に行っている。その子供たちも海外に行っている」との指摘がありました。試験での解答としては「×」が付きますが、その発想は驚きとともに、ほほえましくも思いました。国内の生徒からは決して聞くことができない発言でした。

学習指導要領の改訂により、「情報を読み取り、根拠をあげてわかりやすく説明する」という学習活動が重視されています。この活動を「言語活動」といますが、生徒・教師のやりとりは社会科の授業を通した「有意義な言語活動」でもありました。

この授業の狙いからは外れ、示されませんでしたが、右のデータほど悲しい事実はありません。機会があれば、ベビーブーム直前の極端な出生数の減少や、20代男性の、人口数について、ご家庭での話題にしていただきたいものです。

